

代表質問の要旨

質問を
行った会派

明政会

市民派連合

市政同志会

市政敬和会

日本共産党

新和会

※本文は質問者自身の
原稿によるものです

明政会

質問者 古厩 圭吾

青柳喜美男・塩原政治
五味東條・野村みなを

質問時間60分

夢のある 塩尻市に 向けて



◆新県政は

問 村井県政との関わりをどのような姿勢ですめるか。

答 特に変わらない。知事に陳情しなくても、適正な配分は当然であり、おねだりではなく、提言をしていく。

◆二期目の想い

問 市長選での1万1千の批判票を市政にどう生かすか。

答 小口嫌い、箱物嫌い、地域モノローもあり、批判票とは思っていない。

◆謙虚さとは

問 人事権は権力の象徴だが権力者には謙虚さがほしい。市長が全て正しいわけではないのだから周囲の意見も聞き、裸の王様にならぬように望む。

答 自分は権力者ではないし、

なりたいたとも思わない。市議時代と違い、遠慮をしない方が論議の活性化になるのでは。

◆公約実現に関わる費用は

問 市長選公約を実現するには、どれほどの資金が必要か。

答 継続分もあるが、福祉施設も含め22年までの任期内で80億円くらいか。109億の合併特別債を活用したい。

◆交流センター市の負担は

問 (仮)市民交流センターへの補助金の流れはどうなるか。

答 再開発ビル施行主である地権者組合が事業を行う。これに対して対象額の2/3を国が40%、市が60%補助する。

◆新体育館構想は

問 総合体育館の建設には人口バランスにも配慮すべきだが、立地要件はどうか。

答 体協の構想では建設費用が40〜50億円となる。交通の利便性、駐車場確保が重要だ。

◆教育委員会のあり方は

問 教育委員会の存在がよく見えないとの声を聞く。教育行政の執行体制に問題はないか。

答 レーマンコントロールを根底にしている。現体制で教育委員会が施策に直接関わるには無理がある。教育長・事務局体制を含め、問題はある。

開かれた教育委員会に向け、ホームページの活用等で情報発信を積極的に進めたい。

◆アンケートの結果は

問 イジメに関わるアンケート調査の結果はどうか。

答 自由記述で「悪口を言われたり書かれている」との訴えが小学生19%中学生13%あり、次は「暴力・無視」であった。

◆新たな財源の道

問 新たな財源の確保は。

答 新税の研究プロジェクトチームを作っており、関係自治体とも連携して対応したい。

◆研修制度の見直し

問 公務員の不祥事は当市も例外ではない。対症的な研修だけでなく、若手職員に総合力をつける為、JICAでの途上国派遣の機会を与え



研修制度の見直しを (JICA資料)